

令和 2 年度

研究のまとめ

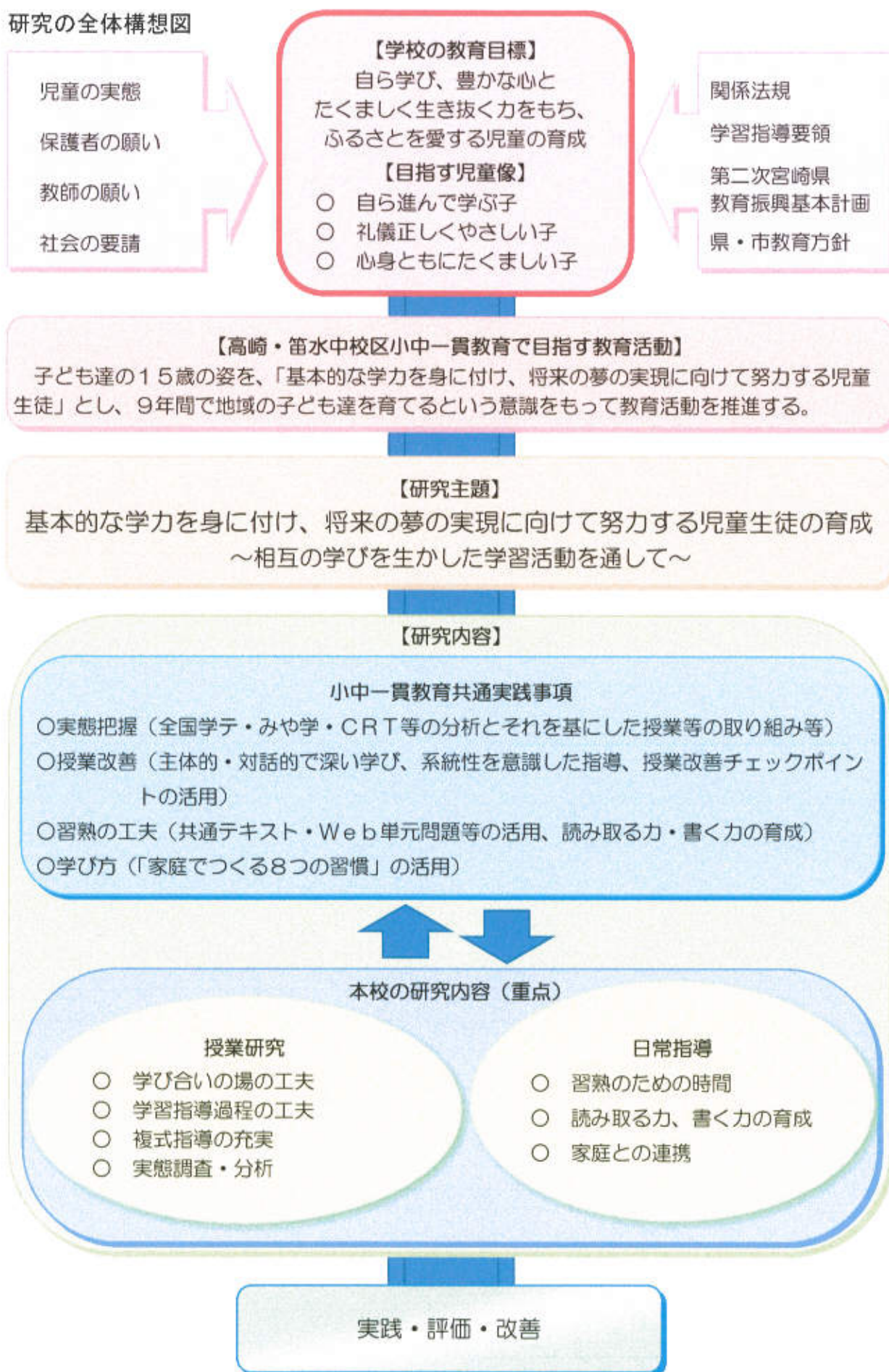
基本的な学力を身に付け、将来の夢の実現に向けて努力する児童・生徒の育成

～相互の学びを生かした授業研究を通して～



都城市立繩瀬小学校

研究の全体構想図



【学力調査等実態分析】

今年度は CRT の結果より傾向を分析し、各学級で改善策を考えた。

CRT算数 通過率50%以下の項目 ……通過率0~20%

	2年	3年	4年	5年
算数的な考え方	大きさ比べの利点	算算式の作成・読込	円の直径の読取	折れ線グラフ
	めもり数での長さの比較	短の長さな算算	直径の3つ分・読取	最小割合を通り
	考えが2になるの算算	短の長さな算算	読取算算・考えが読取	短と時間と歩の
	方一Dの長さの算算	正方形を作る	わり算・あまりの算算	円角形の性質

CRT国語 通過率50%以下の項目 ……通過率0~20%

	2年	3年	4年	5年
話す・聞く	内容の聞き取り	算算の聞き取り	内容の聞き取り	インタビュー
	話し合った質問	算算に話す・読取内	伝える内容を選び話す	
			読取の時の注意	
	文章のよみとく	算算・かざかこ	算算に書く内容	物語の書き方
	文章の読取	文の書き方を考えて書く	算算の工夫	算算を用い

全体的な課題

- 長文及び題意の読み取り
- 根気よく考える力
- 書きぬく力、まとめて書く力
- 図形の理解



各学年の改善策

学年	課題	対策
1年	問題文の理解不足 長文の読み取り	問題に慣れさせる。 文章を短くさせ、意味を理解させ 視覚化されていない表現などを図 【わ・た・こ】チェックを指導
2年	意見を読み取る力 集中して聞く力	
3年	算算的な文章の読み取り 算算の理解	
4年	やる気が低い 問題に慣れていない 根気よく考える力 読む力	文章を読みかき高める。 基本的な計算力をつける。
5年・6年	書きぬく力 まとめて書く力	書き方の違いをつかませる。 全員発表で自分の意見をしっかりと 丁寧に書く。

【授業改善の手立て1】学習指導過程の工夫

- ① 5つのチェックポイントに沿った授業
(チェックポイント表)

CP1	めあてとまとめの整合性
CP2	指導内容の精選
CP3	実態にマッチ
CP4	指示と発問
CP5	対話的な学びの手立て

ポイントに沿って事後研にて検証






指導案に明記

第4学年		
	学習活動(学習内容)	指導上の留意点
直接	1 前時の学習内容を振り返り、本時の学習問題を把握する。	○ 四捨五入の仕方をフラッシュ型教材や掲示物を使って確認する。…【CP 2◎】【CP 3◎】
	2 本時のめあてを確認する。… どのように四捨五入したのかを考えよう。…	○ 前時学習との違いに気付かせ、どのように四捨五入したのかについて考えることをつかませる。【CP 1◎】
間接	3 問題を考える。… ○ 1人→グループ→みんな	○ 初めの位だけ0でないことをもとに、上から1けたの概数にしていることに気付かせる。…
	県と市の人口 長野県 2093804人 2000000人 長野市 377598人 400000人	○ 自分の考えがもたない児童には、教科書の吹き出しをヒントに考えさせる。…【CP 4◎】【CP 5◎】
	4 上から2けたの	○ 上から2けたの概数に

【授業改善の手立て2】 学び合いの場の工夫

学び合いとは、みんなと考えを共有したり解決したりすることを通して、多くの気付きや共感をもち、新たな自分の考えをつくり出すことが「学び合い」の目的である。

〈目指す児童の姿〉

	話し方	聞き方
1・2年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞きやすい声の大きさや速さで話す。 ○ 順序よく話す。 ○ 理由をつけて話す。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆わたしは～だと思えます。理由は・・・だからです。 ☆まず、次に、そして、だから</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し手の方に体を向けて聞く。 ○ 反応しながら聞く。 ○ 最後までだまって聞く。
3・4年	<ul style="list-style-type: none"> ○ つなぎ言葉を使って話す。 ○ 構成を工夫して話す。 ○ 相手と比べ、つなげながら話す。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆○○さんと同じで（違って）・・・だと思えます。 ☆例えば、絵（図）にすると ☆最初に、次に、最後に</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えと比べながら聞く。 ○ 大切な言葉（5W1H）を落とさずに聞く。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>
5・6年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の考えを引用したり、例示したりしながら話す。 ○ 必要な資料を選択し、示しながら話す。 ○ 相手や場に応じた内容や言葉づかいで話す。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆○○さんの意見と同じで（違って）・・・と思えます。理由は△△だからです。 ☆○○さんと意見に賛成（反対）です。理由は・・・だからです。 ☆ここまではいいですか？ ☆みなさんはどうですか？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事実と感想、意見を区別しながら聞く。 ○ 自分の考えと比較しながら聞く。 ○ メモをとりながら聞く。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

学び合い活動の進め方（縄瀬小バージョン）

学び合いの型	学び合いの目的 話し合いの視点 学び合いのゴール
一人一人の考えのよさ	<p>目的【一人一人のよさに着目させ、それぞれの意見への理解を深める。】</p> <ul style="list-style-type: none"> • それぞれの意見のよさを見つけましょう。（1～6年） • 自分の意見との違いを考えましょう。（3～6年） • 友達の意見を聞いて、自分の意見に付け加えたいことを考えましょう。（4～6年） <p>ゴール</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の考えは、自分と同じで（違って）こういうことなんだ。 ○ 友達の考えが、よく分かった。 </div>
繰り返し解決	<p>目的【考えの違いに着目させ、よりよい考えにするために、一つの意見にまとめあげる。】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 友達の考えと自分の考えの違いを考えましょう。（1～6年） • どの意見が、よりよい考えか、考えましょう。（3～6年） • 学習課題（問題）にふさわしい、解答を考えましょう。（3～6年） <p>ゴール</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ この考えだったら、正しい考えだ。 ○ この考えだったら、わかりやすい。 ○ この考えが、課題にふさわしいものだ。 </div>
まとめ	<p>目的【考えの共通性に着目させ、学習課題（問題）の解決に最適な考えへとまとめあげる。】</p> <ul style="list-style-type: none"> • それぞれの考えの共通点を、考えよう。（1～6年） • それぞれの考えの共通点を、一つの意見にまとめよう。（3～6年） • まとめた意見が、ふさわしい意見か考えよう。（4～6年） <p>ゴール</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ このようにまとめると、みんなの意見になるね。 ○ このようにまとめると、分かりやすい考えになるね。 </div>

【授業改善の手立て3】複式指導の充実

本校の複式指導の課題

- ① 人間関係が固定化し、自分の意見をしっかり相手に伝えることが苦手な児童が見られる。
- ② 学力の個人差が見られるが、複式指導の際に教師が個別指導を行う時間が確保できていない。



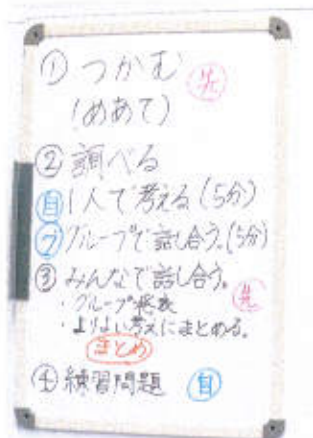
- 複式授業での話し合い活動の充実（サークル対話）
- 児童同士で学び合う場の設定



- 話し合う意欲はあるが、児童同士で話し合い活動を行うにあたって必要な、「聞き方・話し方」のスキルが十分に高められていない。
- 複式指導での個別指導や習熟の時間の効率化には至っていない。



児童の主体的な学びを促す ～タイムプランボードの活用～



児童だけでも、進められるように
指示が示してあるボード。

児童の習熟を図るための ～ICTの活用～



デジタル教科書や、スキル問題などの
ICTの効果的な活用。

【日常指導】 ぐんぐんタイム・新聞活用

○ ぐんぐんタイム

本校では、毎週1回朝の時間に各学級の実態に応じて学力向上のための取組を実施している。読解力向上のための読み取り問題集や算数 web 問題など、児童の弱点克服のための時間となっている。どの児童も集中して取り組んでいる。しかし、複式指導のため、個別指導の時間が十分であるとは言えない。今後は、全職員で指導を行っていく必要がある。



○ 『宮日こども新聞』への作品投稿

毎週届けられる宮日こども新聞への作品投稿を積極的に行い、掲載された作品は、全員でみることができるように掲示を行っている。

今後は、これまでの作品応募を続けていき、さらに、実際の読解力向上へと繋がる、「読売ワークシート通信」などの外部の問題等の活用も検討していく。



【成果と課題】

- 年度当初に児童の実態を把握したことで、指導につなげることができた。
- 5つのチェックポイントを指導案に明記したことで、授業者も参観者もポイントを把握しやすく、事後研でフィードバックができた。
- 到達目標が設定されたことで、学び合いについての共通認識が図れた。
- ぐんぐんタイムでは、日頃習熟できない部分や復習の時間に充てたことで、指導の充実を図ることができた。
- みや学、全国学調など諸調査の結果がない中での分析であったため、分析として十分ではなかった。
- 学び合いについての共通理解はできたが、具体的な方法や段階など、実践しながら実態に応じてさらに改善していく必要がある。
- 複式授業での習熟の確保が課題である。
- ぐんぐんタイムは貴重な個別指導の時間でもある。今後、さらに職員全員での取り組みを行なっていく。